

第2回 医療機関の勤務環境改善研修会アンケート結果

「医師の働き方改革セミナー」

- 日 時 令和2年2月25日（火） 18時～20時
- 場 所 奈良県社会福祉総合センター 5階 研修室C
- 参加者 57名

理事長・院長12名、その他の医師2名、看護部長1名、その他の看護師1名、
事務長19名、その他の事務職9名、その他13名

【1】 ①研修の満足度

選択肢	回答数	割合
1. 大変満足	17	43.6%
2. 満足	22	56.4%
3. ふつう	0	0.0%
4. 不満	0	0.0%
5. おおいに不満	0	0.0%
	39	

②研修を知ったきっかけ

選択肢	回答数	割合
1. 勤改センター（県病院協会）からの案内	29	72.5%
2. 奈良県公式Facebook	1	2.5%
3. 県ホームページ	0	0.0%
4. 上司、同僚、知人の誘い・口コミ	10	25.0%
5. その他	0	0.0%
	40	

【2】 ①研修に参加する前に、どんな悩みや課題を持っていたか。

<全体>

- ・働き方改革の具体的な進め方。 ・働き方改革の全体像が分かりにくい。
- ・何から着手すればいいか、明確でない。 ・知識不足。 ・医師不足。

<改革への不安>

- ・医師の仕事が減らすことで、医師・患者間の損失に繋がらないか、（医療の）質を担保できるか。
- ・自己研鑽の取り扱い。
- ・今後の通算労働時間管理（出張、副業）の取り扱い。
- ・通算時間が上限をオーバーすることによる大学病院からの派遣制限の可能性。

<看護側>

- ・特定行為の看護師の活用について。
- ・医師の働き方改革を進める中で、タスクシフト/シェアがどうなるのか。

<組織課題>

- ・良好な職場環境の形成に対する職員の意識がバラバラ。
- ・システムづくり・制度の構築 ・院内ルール化の方法論
- ・どうしても固定概念があり、取組が困難。

<その他>

- ・研修参加など、できることからまず実行したいと思っている。

②本日の研修の開催を知って、すぐ申し込んだか。

回答者の8割が「すぐに申し込んだ」と回答。

「すぐ申し込まなかった」理由は、失念のほか、（職位が院長や看護部長、事務長でないため）申し込んで良いか分からなかったため。

③研修申込みの決め手

<テーマ>

- ・医師の働き方改革を具体的にどうすれば良いのか分からないから。
- ・（医師の働き方改革が）喫緊の課題であるため。
- ・早く進めていかなければならない状況にあると判断したため。
- ・働き方改革ワーキンググループの一員としての理解度を深めたい。
- ・医師の働き方改革について理解しづらいところが多々あったので、様々な研修を受けて理解を深めていきたいと考えたから。また、方法も具体的に知りたいと考えたから。
- ・とにかく情報がほしい。

<講師>

- ・講師が有名な方だったから。
- ・講師が医師で経営学を学んでいるから。
- ・上司より講師の方の話が分かりやすいと教えてもらったため。
- ・同様のセミナーは多数あるなか、講師の話は明確で分かりやすいため。

<その他>

- ・（看護師として）医師からタスクシフト/シェアされる側として知識を得るため。
- ・法制化が近づいているから。

④実際に参加した感想（参加前と参加後の変化等）

- ・参考になった。 ・理解が深まった。
- ・色々と整理された話をお聞きできて良かったと思う。
- ・具体的な事例も多く、元気づけられた。
- ・組織の変革のHow toのようなことが聞けて良かった。
- ・改革の進め方についてイメージができた。 ・全体像がはっきりした。
- ・取組の考え方や問題点が整理された気がする。
- ・色々なロジック、手法を聞けて大変参考になった。
- ・実体験を踏まえた講義で分かりやすかった。取り組み方が見えてきた気がする。
- ・2024年に向けて院内で何を進めて行けば良いのか明確になった。
- ・知識のブラッシュアップができたので、今後の対応を検討したい。
- ・働き方改革を実践していくことは困難であるが、一歩ずつ進まなければならないと認識。しかし、長期的に見て医療の質を下げないかはじっくりと見守る必要あり。
- ・働き方改革は経営改革ということが分かった。
- ・タスクシフトについては看護師も関わるので、協力できると思えた。

⑤県や勤改センターへの意見

- ・いつも良い内容の研修を計画してくださりありがとうございます。
- ・有意義な研修をありがとうございました。
- ・県内の様々な医療現場の方々に届けられるレクチャーや、情報提供をお願いしたい。
- ・上手な医療のかかり方のポスターなどを広めてほしい。